



菊 外 評 第 1 号
令和元年 12 月 2 日

菊池市長 江頭 実 様

菊池市総合計画外部評価委員会
会長 上野 眞也

第 2 次菊池市総合計画後期基本計画の評価について（答申）

令和元年 10 月 31 日に本委員会に諮問のありました「第 2 次菊池市総合計画後期基本計画の評価（市が実施した平成 30 年度の施策評価）」について、審議した結果、次のとおり委員会としての意見を取り纏めましたのでここに答申します。

1. 総評

第2次菊池市総合計画後期基本計画（平成30年度施策）の28施策について外部評価を実施した結果、後期基本計画の1年目については、将来像の実現に向けた各施策の取組みが、概ね順調に進捗していると評価できる。

特に、施策7「スポーツの振興」や施策20「安全安心なまちづくりの推進」については、社会体育施設の利用者の増加や交通事故や犯罪の減少などに成果が出ている。

引き続き、評価を通して抽出された課題を改善に結びつけ、下記の意見に配慮し取り組まれることを期待する。

- グルメ推進事業については、進行管理面で遅れがみられるため、全般的な見直しが必要である。
- 観光資源の活用については、効果的な広報活動を行うとともに、外国人観光客に対応した観光ガイドの養成など、生涯学習分野と連携して、人が活かされる取り組みを検討いただきたい。
- 菊池基準については、高品質な農畜産物であることを消費者にPRするとともに、菊池基準によるブランド化で他の商品との差別化を図ることで所得増加につながるよう取り組んでいただきたい。
- 農業の振興については、高齢化と後継者不足等の社会現象に対し、集落営農や法人化、特産品の生産技術の継承等、豊かな農林産業を維持するために戦略的に推進していただきたい。
- 学校教育の充実については、学力の向上に努めるとともに、不登校の子どもや中学校を卒業した子どもたちへのケアや支援についても、社会教育や福祉の観点で連携して取り組んでいただきたい。
- 生涯学習の推進については、各地域の公民館を拠点とした特色ある取り組みにより、地域の人々がつながる活動となるよう支援を続けていただきたい。
- 市民協働とコミュニティ活動の推進については、補助金だけではなく地域への助言等により地域の活性化につなげていただきたい。
- 交流活動の推進については、外国人労働者の増加も踏まえ、外国人との共生や交流の目的等今後の在り方について一度整理する必要がある。

- ふるさと納税促進事業については、返礼品の見せ方を工夫するなど、効果的な取り組みにより寄付額の増加につなげていただきたい。
- 菊池川流域の日本遺産については、認知度向上に向けて、県や関係市町と連携して公民館講座やイベントの開催、ガイドの養成などPR活動に努めていただきたい。
- 男女共同参画社会の実現については、女性の委員が増えてきているのは喜ばしいことである。活躍している女性にスポットを当て、女性の意識を変える等の取り組みで、さらなる男女共同参画社会の実現に努めていただきたい。
- 高齢者福祉の充実については、「通いの場」での介護予防活動への支援等、市民に寄り添ったきめ細やかな対応に引き続き取り組んでいただきたい。
- 特定健診の受診率向上については、医療機関との連携を強化し、治療中の未受診者の検査情報を共有することで、検査項目を確認し保健指導に繋げるとともに、効果的な広報活動に努めていただきたい。
- 安全安心なまちづくりの推進については、防犯カメラの設置台数を増やす等、警察と連携して積極的に取り組んでいただきたい。また、安心安全メールや菊池防災行政ナビの登録者数をさらに増やし、市民の防災意識の向上に努めていただきたい。
- 公共交通の充実については、べんりカーやあいのりタクシーの利用方法についての周知が不十分であるため、市民への積極的な広報活動に努めていただきたい。

2. 外部評価委員会委員名簿

※外部評価委員会は、下記の7名（学識経験者1名、各種団体等6名）で構成

役職	氏名	任期	備考
会長	上野 眞也	令和元年10月18日～ 令和2年3月31日	熊本大学 教授
委員	工藤 真理子	令和元年10月18日～ 令和3年3月31日	菊池市農業委員
委員	松野 浩一	令和元年10月18日～ 令和3年3月31日	菊池市商工会 事務局長 菊池観光協会 監事
委員	古津 理恵	令和元年10月18日～ 令和3年3月31日	菊池市子ども会育成協議 会
委員	青木 輝彦	令和元年10月18日～ 令和3年3月31日	菊池市社会福祉協議会
委員	江藤 継喜	令和元年10月18日～ 令和3年3月31日	菊池市教育委員
委員	飯塚 暁子	令和元年10月18日～ 令和3年3月31日	熊本県県北広域本部 振興課長